

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行所
発行人

新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6丁目7番1号

TEL:092-661-1531

https://shinkenko.jp



次の御論文は明主様が、昭和二十四年に発表されたものであります。
世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸いです。

本教救いの特異性

本教の使命は地獄で苦しんでいる人達を天国へ救うので、それによって社会を天国化せうとするのである。この意味において人を天国へ救うには、まず自分が天国に上がって天国人となり、大衆を救い上げるのである。つまり地獄から天国へ梯子をかけて、手を延ばして一段一段のぼらしてやるという訳である。これが今日までのあらゆる宗教と異なる点で、それはむしろ反対でさえある。

周知のごとく、昔から宗教人といえば粗衣粗食、最低生活に甘んじ、難行苦行を重ね、自分は地獄的状态にありながら衆生を救おうとするのであるから、梯子を逆に用いる訳である。即ち、救う者が救われるものを押し上げてやるのであるから、上から引っ張るよりも押し上げるほうが、どのくらい骨が折れるかは推察さるであろう。

ところがその当時としては、実は天国はできていないからやむを得なかったのである。勿論それは時期尚早のためで、霊界が夜で

あつたからである。しかるに昭和六年以降、漸次霊界は昼になりつつあるので、天国を造ることは容易になったのである。否、人間が造るのではない、神様が造るのであるから、自然に時の進むに従い進捗するので、人間はただ神のまにまに動けばいいのである。即ち、神が設計し、監督し、多数の人間を自由自在に使役するので、私としての役目は、まず現場監督と思えば間違いないのである。勿論その一部として現在天国の模型も造っているので、信者諸君はよく知るところである。

右のごとくであるから、土地にしても予期もしない時期に、予期もしない位置に、売りたい人が出る。すると私はハハア神様がここを買えというのだなと思うが否や、それだけの金額は別に苦労しないで集まってくる。それに準じて、最も適した設計者も土木建築家も、材料も、思う通り必要なだけは判で捺したように入手する。庭木一本でも突如として誰かが持つてくる。それがチャンとあてはまるような場所がある。時には庭木が数本も数十本も一時に入手するので、私は戸惑いするが、これは神様がなさることと思うから、庭をにらみながら順々に植えて行くと、過不足なくきっちりあてはまってしまふ。そのたびごとに、いっさいは神様がやられることが実によく分かるのである。ある位置にこういう

石や木が欲しいと思うと、一日か二日でチャンとくる。これが奇跡でなくて何であろう。こういうことを書けば限りのない程で、おいおい書くことにするが、今はただ片鱗だけを書いたのである。

この文は、すべて人間がやっているのではない、神様の経綸のままに、人間がやらされるということに分からせるために書いたのである。これらによって試してみても、神意は地上天国建設の第一歩として、その模型を造られるということがあまりに明らかである。しかしながら模型ばかりではない。人間個人が天国人とならなければならぬ。否、なりうる時期が来ているのである。勿論、家庭も天国化し天国的生活者となるのである。それで初めて、大衆が苦しんでいる地獄から救い上げるのである。故に信者に対し私は、常にできるだけ苦のない生活環境を作るべきで、それが神意にかなう所以であるというのである。即ち、病貧争の三苦が除去されなければ本当に人を救うことはできない。しかしそのようなことは夜の世界では不可能であったが、今日はもはや可能となったのであることを知らなければならぬ。彼の積尊の唱えた苦の娑婆の時期はもはや終わったのである。このことの真諦が分かったとしたら、その歓喜は人類の経験にない程絶大なものがある。

浄霊体験記

- 「子宮頸がん」から救われた奇跡
- 自律神経失調症 浄霊に出会い 改善
- 破裂すると言われた肺 浄霊で救われる！
- 浄霊をいただき 血圧正常に！

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

「子宮頸がん」から救われた奇跡

品川支部
加藤 詔子 (79)



私は絶望の淵から救われて三十九年が経ち、現在自分が七十九歳とは思えないほどの健康体とパワーで毎日幸せに暮らしております。
夫の機嫌取りに始めたゴルフに夢中になり、打ちっ放しを三百球もできるほど私が疲れ知らずなのは、浄霊をいただいているからです。週に一回は必ず支部へ行き、浄霊を二回いただくことを四十年近く続けています。
私は三十九歳の時、体調が思わしくなく、病院に行くと、「子宮頸がん」と医者から言われたので心配になり、その診断書を持って別の病院へ行きました。するとそこでは、診断書を見て「これならすぐ手術した方が良いでしょう」と言われました。

新健康協会を訪ねると：

そんな時、母から新健康協会を勧められ、新健康協会東京支部に行きました。浄霊が何だかわかりませんでした。支部の先生からお話を聞いてここで救っていただけるような気がして、真剣に明主様にお継りしようと決心しました。夫はガンに効くという漢方薬を買いに北海道まで連れて行ってくれましたが、私はそれを全く服用せず、浄霊をいただくことにしました。

私は、当時三歳だった娘を連れて、片道一時間半かかるところを一日おきに五カ月間東京支部に通い続けました。その間、出血があったり、腰が痛んだりという症状がありました。夫は徐々に楽になっていきました。

奇跡！薬が手放せた！

五カ月過ぎた頃、夫に「とにかく病院で検査をするように」と言われ、病院で検査を受けました。私は不安で仕方なかったのですが、驚いたことにガンは消えていたのです！別の病院でも検査をしましたが、そこでもガンはみつかりませんでした。

私は神様にご縁をいただき、新しい命をいただいたことに、心より感謝申し上げます。それから日は日に元気になり、習い事（着物の着付け）を始め、師範の免状まで取ったくらい前向きになりました。

今では梅干しを作ったり、干し柿を作ったりすることが毎年の恒例行事です。梅干しは、欲しい人に分けてあげ

たりします。柿は、干し柿にして食べた種から柿の木が育ったのですが、たくさんの実がなりますので、鳥のえさに残す他は皆自分で皮をむいて干し、支部の正月飾りに使っていたらいいと思います。それがとても有難くてなりません。

明主様、日々何となく幸せに過ごさせていただきまして、心より感謝申し上げます。

一人でも多くの人に、賜りましたこの幸せをお伝えさせていただきたく思います。

明主様、誠に有難うございました。
(東京都江戸川区)

自律神経失調症 浄霊に出会い改善

西条支部
岩崎 栄 (54)



若くして結婚し、農家に嫁いだ私は、農家の嫁として家族に認めてもらいたくない焦りに加え、それが上手くできない絶望感に苦しみ、自己嫌悪で体調もすぐれず、動悸がして眠れなくて、頭痛もして辛い日々が続いていました。そのため、だんだんとうつ病のような状態になっていきました。二十五歳の頃に病院に行き、「自律神経失調

症」と診断され、治療のために安定剤を飲むようになりました。初めのうちは気分が良くなり効いていましたが、又症状が出るのではないかと心配で、人に会うことが辛くなってきました。そのことを面談で伝えると治療薬が増えてきて、このまま薬を飲み続けていいのかわからず、だんだん不安の方が大きくなってきました。

健康新聞がきっかけで：

そんなある日、この健康新聞を配布に來られた方に私の現状をお話ししました。「薬に頼らない新しい健康法がありますよ。この健康新聞には色々な方の体験談が載っていますので、よかつたら読んでみませんか」と言われた言葉が気になって、いただいた新聞をよく読んで、支部を訪ねることにしました。

初めて浄霊をいただいた時、スッキリとした新鮮な感じがしました。その後、色々な浄化作用を体験しましたが、薬無しで生活出来る安心感がありました。

吐き気がして胃の中が空っぽになるぐらい吐くと頭がスッキリしたり、買い物中にトイレをお借りしたりして、お腹の掃除があると気分が良くなる体験をしました。現れてくる症状が心配な時もありましたが、浄霊をいただく薬を使わなくても薬になることを実感しましたので、平成六年、二十七歳で入会しました。

授かった二人の子供達も、風邪を引いて高熱が出たり、アトピー性の湿疹が出たこともありましたが、薬を使っていた頃よりも、浄霊をいただくようになってからの方が早く楽になる体験もしました。

浄化作用ってどういうこと？

人間には体内の毒素を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えば、カゼの場合、蓄積してきた不純物や体外から入ってきた毒素を浄化するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが出て体の中が掃除され、霊・体共に清浄化されます。

その毒素排除の過程を浄化作用と言います。

ですから浄化作用は、体の不調和を調和させる大切な清掃作用でもあるのです。

明主様、誠に有難うございました。
(徳島県徳島市)

破裂すると言われた肺 浄霊で救われる！

堺支部
80代男性

私は平成二十九年の夏頃より咳で息苦しくなり、度々肩で息をするようになり、辛そうな私の姿を見ていた子供たちが心配し、私が以前肺がんの疑いで治療をしていたこともあり、病院に行くことを懇願され、病院に行くことにしました。すると医者より「このままだと肺が破裂するから即入院」と言われ、「肺がほとんど真っ黒になっており、手の施しようがない状態です。これ以上病状が進行しない治療を行います」と言われました。入院し、手術はできる状況ではないということで、点滴、酸素吸入、投薬による治療が始まりました。そして「年内（十二月十八日入院）が山になると思います。元気な内に親戚等面会しておかれては」ということでした。これは後に家族から私が聞いた話です。

すぐに妻が支部に御守護の御願いをしてくれました。支部の奉仕者の方から明主様に御任せして浄霊をしっかりといただいでくださいとお話いただきました。私自身も明主様にお継りするしかないという強い信念が湧いたのを覚えております。それから、妻から毎日病院にて浄霊をいただき、妻から毎日病院にて浄霊をいただきました。楽な日と辛い日が交互にくる感じでした。時には、目の前が真っ暗になり、気を失いそうになるくらい苦しい時もありましたが、生き続けている感謝を思い、念じると不思議

に楽になるのが早かったです。

おかげ様で比較的食欲はありましたので、食事も美味しくいただけました。意外に動くこともできましたし、痛みがないのも有難かったです。浄霊をしっかりといただき、徐々に呼吸が楽になる時間が増えてきていたのを感じ、感謝あるのみでした。元気になることだけを念じ、日々感謝で過ごさせていただけにありがとうございました。

余命宣告から奇跡の快復！

そうすると一カ月後の翌年、一月十八日に退院することが出来たのです！沢山の人に奇跡だと言われ、年齢と病状を考えると正直新年を迎えられたのは奇跡に近いことです。病状が進行していかない」と不思議そうに感心していたそうです。夫婦共、明主様よりいただいた命に心より感謝申し上げます。支部にもすぐに参拝でき、おかげ様で快復も早く、二月四日には元気に参拝のお許しを賜りました。この喜びは一生忘れな

いでしよう。その後、定期検診で医者さんから「完全に治っているわけではないので酸素吸入器の使用も覚悟しておいてください」と言われましたが、おかげ様で一度も使用することなく大変な御守護をいただいております。息苦しくなることはありませんが、浄霊をいただくことにより、楽になりますし、これで大丈夫だと安心感を得られるのは大きいと思います。命がないと言われたところを救っていただいた感謝は言葉では言い表せない喜びであります。これだけの

症状で早くに退院でき、年齢の割に体力があり、痛みもあまりなく衰弱しなかったのは、やはり浄霊の力だと思えました。

私は、今まで多くの奇跡をいただけてきました。畑仕事中にトラクタから転落して頭を強打し、血まみれになったこともありましたが、浄霊をいただいで普通に良くなりました。勿論、後遺症はありません。数え上げたらきりがありません。御守護だと思っております。この浄霊は癒しの業だと確信しております。私もこのように元気にしております。この新聞をご覧の皆様、一度浄霊を体験される日が来るのを心よりお念じております。

明主様、誠に有難うございます。
(大阪府堺市)

浄霊をいただき 血圧正常に！

福津支部
門司サクコ(91)



私は、数年前より血圧が高く、上が二二〇を越えることもしばしばあり、色々なサプリメントや血圧降下剤を毎日のように六年間以上も続けていました。そのために、毎日が不

安の日々でした。

ところが、三年前前、ポストに健康新聞が入っていました。その時に、浄霊という文字に気がつきました。それというのも、私の母が若い頃、新健康協会の会員にならせていたでいたからです。私自身は、その当時元気でいたので、浄霊をいただくことはなかったのですが、母が浄霊という言葉を知りましたので、懐かしさと、ある期待を持って福津支部を訪ねてみました。

そこで、奉仕者の方より様々な体験をされた方達のお話を聞かせていただきました。その中でも特に印象に残った話があります。

それは、新しく支部に来られた方で、血圧が二〇〇くらいあり、血圧降下剤を使用すると一八〇にしか下がらなかつたのが、薬に頼らず、浄霊だけをいただきますと十日間程で一四〇くらいまで下がったというお話でした。その方は、他にも腰痛で整形外科に通ってもほとんど治らなかつたのが、浄霊をいただくことで薬になられたそうでございます。これらの話を聞きまして、浄霊の素晴らしさを教えていただきましたので、浄霊を毎日続けてみようと思えました。

初めのうちは、内心、半信半疑でしたが、少しずつ今まで服用していた薬を減らしていき、ついに全ての薬を止めました。

浄霊をいただき変化が：

すると、薬を服用していないのに、血圧が一三〇くらいまで下がりました。これも毎日浄霊をいただいでいたおかげだと確信しました。

昨年の九月頃、突如として二〇〇くらいに上がりましたので、腎臓の周辺を重点的に浄霊いただくと、お小水の量が増えて頭が軽くなり、大変体調が良くなりました。それから急に上がった血圧も正常に戻りました。この素晴らしいことは、ご自身で体験しなくてはわかりません。

どうか、この健康新聞を手にとられた皆さん、是非浄霊を体験してみてください。

浄 霊

浄霊は大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

芸術を楽しむ理由 美の殿堂へ

1 vol.

聖地に美の世界をつくる
新健康協会が伝えたい
芸術鑑賞のススメと
楽しみ方について



「晴明会館」は、教祖・明主様(岡田茂吉師)を信仰する新健康協会の聖地に「美の世界」を実現する信念のもと、1987年(昭和62年)に建設されました。

インド砂岩に包まれた建物に一歩足を踏み入れると、ローザオーロラの石肌や燦然と輝くシャンデリアから漂う建築美が訪れた人の心の癒しを演出してくれま

「芸術は人間の情操を高め、生活を豊かに、人生を楽しく意義あるものにしてくれる」。

教祖の思いが脈打った自然の美と建築の美で演出された美の殿堂へ。

日本画、浮世絵、洋画、陶磁器、工芸品などの優秀な芸術家の収蔵作品を一人でも多くの方に楽しんで鑑賞していただき、心を清めて、安らぎや幸せをもたらす会館となりますよう、これからも努めて参ります。

手に入れたのは 健康な心と 健康な体

美の世界

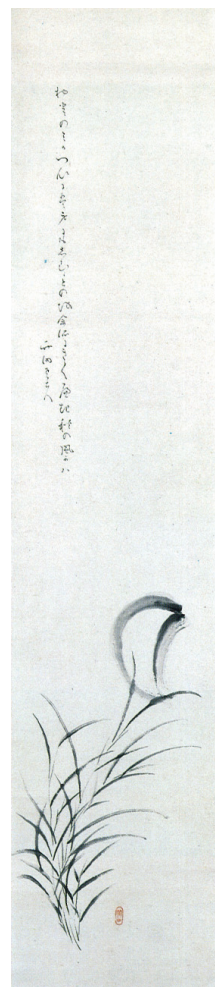
美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする事ができます。

田能村竹田

《秋の月》

絵が上手い、というのはどういうことだと思いますか？絵に限らず、たとえば音楽を奏でる演奏家にしても、巧みであることと受け手の心を打つことは、必ずしもイコールではないことを私たちは経験的に知っています。今回紹介する《秋の月》の作者、田能村竹田は江戸時代を代表する文人画家のひとり。文人画とは職業画家でない教養人の手がける絵画のことですが、そうした中国絵画に憧れて生まれた日本の文人画は、「南画」と称され独自の流れをつくり出しました。竹田はそんな文人画家たちの中でも、とくに俗世に媚びた技巧を嫌い、理想を追求する姿勢を貫いた画家だと言えます。

豊後国直入郡(現大分県竹田市)の藩医の家に生まれた竹田は、学問



に優れ医業を廃して学者として出仕、その間も詩画を好んで学び、三十七歳で隠居を申し出て、詩画三昧の生活に入ります。各地を巡り文人たちと交遊することによって芸術性を磨きました。

上で技術を超えた理想郷を描き出すとしたのでしょうか。そんな竹田の《秋の月》ですが、画面の左上方には、竹田自身の和歌がしたためられています。「おとのみか つひには身にもしむとのを よるにきくべき秋の風かは」と読めそうです。秋の月が浮かぶこの夜の情景には、そのうち冬を迎えることを予感させるひんやりとした秋風の音が鳴っているのです。本作にも見えるものを通して見えないものを描こうとする、そんな竹田の姿勢が表れているように思います。

晴明会館

「背景に九州」前期展
期間：6月1日(火)～12月11日(土)

解説 松田愛子

※晴明会館お問い合わせ ☎(092)661-1535

せていったことも作品から分かっています。つまり、竹田は技術の面を軽んじるどころか必死でそれを自分のものにしようとし、その

健康新聞についてのお問い合わせは
(092) 661-1531まで